

平成29年度 遺物展示・パネル展・埋蔵文化財講座

周縁から見た平泉

—世界遺産平泉と滝沢—

【日時】平成30年2月6日（火）～3月25日（日）

午前9時から午後4時30分

【会場】滝沢市埋蔵文化財センター ロビー・展示室

（岩手県滝沢市湯舟沢327-13）

【お問い合わせ先】

滝沢市埋蔵文化財センター

〒020-0617 岩手県滝沢市湯舟沢327-13

TEL 019-694-9001 FAX 019-694-9007 Email maibun@city.takizawa.iwate.jp

世界遺産・無量光院跡（平泉文化遺産センター提供）

【関連講座開催のお知らせ】

◆日時 平成30年2月17日（土） 13時00分～16時00分

◆会場 滝沢市埋蔵文化財センター 研修室

13:00～13:10 開会

13:10～14:00 講演「平泉伝説の転変—南から見た平泉—」 柳原敏昭氏（東北大学大学院文学研究科教授）

14:00～14:50 講演「平泉から見た北方世界」 八重樫忠郎氏（平泉町まちづくり推進課長）

15:00～15:40 講演「比爪—北の平泉—」 羽柴直人氏（（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
主任文化財専門員）

15:40～16:00 報告「滝沢の11・12世紀の遺跡について」 井上雅孝（滝沢市埋蔵文化財センター）

※入場無料、事前申し込み不要

滝沢市には、大釜館遺跡・八幡館山遺跡・高屋敷Ⅲ遺跡など安倍氏・藤原氏時代（11・12世紀）の遺跡が存在します。

今回の展示では、滝沢市の11・12世紀の遺物の展示、同時期の遺跡を写真パネルにて紹介します。また、世界遺産平泉の構成資産も写真パネルにて紹介いたします。

2月17日（土）講演 講師紹介



柳原敏昭氏

（東北大学大学院文学研究科教授）

1961年新潟県に生まれる。
中世日本国周縁部（東北と南九州）の比較史を研究。



八重樫忠郎氏

（平泉町まちづくり推進課長）

1961年岩手県北上市に生まれる。
中世平泉を考古学的な視点から研究。



羽柴直人氏

（(公財)岩手県埋蔵文化財センター主任文化財専門員）

1965年岩手県野田村に生まれる。
安倍氏と比叡氏について考古学的な視点から研究

展示構成

- (1) 市指定有形文化財「大釜館遺跡7号溝跡出土土器」展示
- (2) 大釜館遺跡 11・12世紀の出土遺物 展示
- (3) 八幡館山遺跡 表採土器 展示
- (4) 高屋敷Ⅲ遺跡 12世紀の出土遺物 展示
- (5) 市指定史跡「八幡館山遺跡」写真パネル
- (6) 大釜館遺跡 写真パネル
- (7) 世界遺産「平泉の文化遺産」写真パネル



市指定史跡「八幡館山遺跡」

会場案内図